



教育目標
◎思いやりのある子ども
◎よく考える子ども
◎健康でたくましい子ども

令和4年9月12日(月)

校長 星 輝伸

重点目標: Let's try! めあてに向かって レベルアップ!

村の特産物を学ぶ

葛尾村には、いくつか特産物があります。小学校では、それらの特産物を学んでいます。1学期には、胡蝶蘭を栽培している会社に行っていました。今回、マンゴー栽培と、えごまを使った特産物づくりについて学びました。

マンゴー栽培を学ぶ

8月30日(火)に、3～6年生がマンゴー栽培について学びました。マンゴーは、あぜりあの東側にあるハウス内で栽培されています。東北大学の先生と連携して、特産化を図る計画だということです。

最初にマンゴー栽培についての説明を聞きました。その後、実際にハウスに行って現場を見てきました。マンゴーは暖かい地方の作物なので、温度管理が難しいということでした。また、東北大学の先生はいつも葛尾村にいないので、遠隔カメラを通じてマンゴーの状態を確認しているということでした。

最後に、マンゴーの試食をさせてもらいました。去年は学校の給食にも出たということです。



えごまの商品化を学ぶ

9月5日（月）には、郡山女子大学の先生を招いてえごまを使った商品開発について学びました。えごまは、浜通りではじゅうねんと呼ばれています。震災前は、えごま生産日本一は福島県だったそうです。子どものころ、ぼたもちとならんで、じゅうねんもちを食べた記憶があります。葛尾村でも、えごま栽培が行われていて、郡山女子大ではえごまを使った商品の開発に力を入れているそうです。この日は、えごまを使ったアイスクリームを試食させていただきました。えごまのつぶつぶ感がとても良かったです。

他にも、シフォンケーキや食パン、パウンドケーキなども開発中とのことでした。えごまには体に良い成分が多く含まれているとも教えていただきました。特に、えごま油は「じゅうねん油」として販売を再開しているとのことでした。機会があれば、子どもたちにも栽培に挑戦して欲しいなと思いました。



えごま



食べると十年長生きすると言われて「じゅうねん」の名がつけました。葛尾村では震災前から栽培されていたそうです。

標葉祭りアイデアコンテスト入賞 おめでとう!

先日行われた、浪江青年会議所主催の 2022 年度標葉（しねは）祭りアイデアブースコンテストで、葛尾小学校の4名が入賞しました。9月10日（土）のお祭り会場にて表彰されたので紹介します。（今年度の標葉祭りは、大熊町交流ゾーンで開催されました。）

- 優秀賞 杉本 龍牙くん
- 努力賞 松枝 心愛さん
- 努力賞 松本 澄玲さん
- 努力賞 佐久間真千子さん

